

11月 7日 遠野北小学校創立50周年記念式典

北小50周年、かがやく未来へ

創立50周年を迎えた遠野北小学校で記念式典が開催され、同小5・6年生や関係者ら約220人が、50周年の節目を祝福しました。式典では、5年生が北小の50年の歴史を、6



伝統の薬研太鼓を披露する6年生

11月 7日 いわて・遠野トライアルマラソン2020

激走！遠野で初フルマラソン

本市初のフルマラソン大会「トライアルマラソン(アールビーズ主催)」は、遠野運動公園で開かれました。大会には国内外のマラソン大会で活躍し、最強の市民ランナーな



スタート後から先頭を走る川内選手と後続団

年生が北小のさらなる発展を願う「未来宣言」と薬研太鼓を発表。保護者や教職員らにより薬研親太鼓が力強く演奏され、式典を彩りました。

11月 5日 映画「おらおらでひとりいぐも」先行上映会

若竹さん原作映画を一足先に

先行上映会は市民センター大ホールで開かれ、市民ら約320人が来場。夫に先立たれ独り暮らす女性の心情を描いた同映画に見入りました。上映後は映画の原作者・若竹千

佐子さん(本市出身)のトークショーを生中継。来場者は、東北弁や遠野への思いを語る若竹さんと心温まるひとときを過ごしました。



オンライントーク中継で出演した若竹さん

10月22日 令和2年度遠野市小学校音楽祭

小学生の歌声響く音楽祭

音楽を表現したり、鑑賞したりすることで子どもたちに豊かな心を育んでもらおうと、同音楽祭(遠野市小学校音楽教育協議会主催)が遠野市民センター大ホールで開催されました。市内小学生342人

どの異名をとるプロランナー・川内優輝さんら約300人が出場。選手は、公園の外周コースを17周し、42.195kmを軽快に走り抜きました。



振り付けなど工夫を凝らして発表しました

10月31日～11月 2日 第15回遠野市民芸術祭

芸術の秋、市民の心満たす

市民芸術祭(第15回市民芸術祭実行委員会主催)は市内3会場で開かれ、市民が日頃の練習や創作活動などの成果を発表しました。

舞台合同発表会と総合展示会が31日・1日の両日、菊花展が3日間開催され、延べ約1,600人が来場。発表会は市民センター大ホールで行われ、19団体が舞踊や合唱、ダンスなどを披露しました。市民体

育館では、展示会をシルバーカ文化祭と同時開催。生け花や絵画、手芸作品など趣向を凝らした作品約450点が展示されました。菊花展は、市役所本庁舎多目的市民ホールで開かれ、大小、色とりどりの菊の花や切り花など約150点が並び、会場を彩りました。来場者は、さまざまな芸術文化に触れ、心豊かな時間を過ごしました。



11月 2日 遠野市地域おこし協力隊辞令交付式

地域活性化に挑む新隊員着任

同協力隊員への辞令交付式が市役所とぴあ庁舎で開かれ、本田市長から辞令が交付されました。新たに着任したのは、只松靖浩さん(福岡県出身・43歳)、中澤風由子さん(埼玉県出身・24歳)、小田切大輝さん(山梨県出身・30歳)。任期は3年で、地域資源を活用した新事業創出や地域活性化に挑戦します。



写真左から／只松、中澤、小田切隊員

11月 4日 一番搾りとれたてホップ生ビール初飲み会

発売17年目、香る遠野産ホップ

同会はたかむろ水光園で開かれ、遠野産凍結ホップを使った生ビールの完成を祝いました。感染症対策を徹底し、関係者のみで開催。当日は、長年の功績をたたえる感謝状がTKプロジェクト(代表・本田市長)から佐々木悦男前遠野ホップ農業協同組合代表理事組合長やキリン、JR東日本に贈られました。



感謝を述べる佐々木前代表理事組合長(右)

11月 1日 重要文化財千葉家住宅保存修理工事見学会

重文千葉家の修理状況を見学

見学会は同所で開かれ、市内外から110人が参加。建物の特徴や修理の工夫についての解説を聞きながら、石垣や土蔵修理の完成状況などを見学しました。裏山の木を活用した木工体験なども行われ、参加者らはオリジナルの作品づくりを楽しみました。平成28年から始まった工事は、令和9年度に完了予定です。



昨年完成した土蔵と、見学する参加者

10月27日 第47回遠野市乗用馬市場

本州唯一の乗用馬市場開催！

同市場は遠野馬の里で開かれ、1～3歳馬とポニー計23頭を上場。本州唯一の乗用馬市場に全国から購買者が訪れたほか、動画配信サイトを見ながらの電話入札もありました。最



高価格は井手亮悦さん=附馬牛町=の所有馬ラバノレオン(2歳)の200万円。落札頭数17頭、売上総額は前年比11%増の1,839万円でした。



1 緑峰高の生産物やオリジナル商品を買い求める来場者と新型コロナ対策をして接客する生徒 2 稲荷の成果を披露する茶華道部

10月24日 遠野緑峰高校文化祭「緑峰祭」

学びを実践、緑峰高の魅力満載

遠野緑峰高の一大イベント・緑峰祭は同校で開かれました。感染症対策として、入場時の検温や来場者を生徒の同居家族に制限するなど、生徒が予防策を学びながら対策を徹底して開催。各学科の学習成果を披露する作品展示発表のほか、生産技術科が育てた農産物の販売、情報処理科が県外から商品を仕入れて販売するチャレンジショップなど

ど、同校の特徴を生かした催しが行われました。

本年は情報処理科生徒が市内事業者と連携し、農商連携の取り組みを実践。ネットショッピング「遠野市場」で、緑峰祭で販売したオリジナル商品などのネット販売に初挑戦しています。



米味噌